





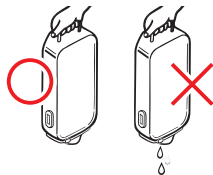
コロナ石油ストーブをご愛用の皆様へ 使用上の注意及び一部製品の点検・修理について

平素は弊社製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
このたびは、弊社石油ストーブに関してお知らせいたしました「使用上の注意及び一部製品の点検・修理について」の件で、ご愛用の皆様にはご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

石油ストーブを安全にご使用いただくために下記注意事項を、都度ご確認の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。


ご使用に際し、「よごれま栓タンク」の給油口は、給油後確実にロックし、先端を指で持ち上げて開かないことを確認してください。

 警告	 給油時消火	 危険	 ガソリン厳禁
<p>●給油は、必ず消火し、火が消えたことを確かめてからおこなってください。火災のおそれがあります。</p> 		<p>必ず灯油をご使用ください</p> <p>●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。</p>	

 警告	 油もれ危険	
<p>●給油後、油タンクの給油口を確実にロックし、開かないことを確認してください。</p>	<p>●給油後は、給油口を下にして油もれないことを確認してからストーブにセットしてください。</p>	
<p>①確実にロック</p> <p>「パチン」と音がするまで強く押す</p> 	<p>②ロックの確認</p> <p>持ち上げて確認</p> <p>給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確認してください。</p> 	<p>③油もれの確認</p> 

特に、2000年製（平成12年製）以前の古いストーブの「よごれま栓タンク」の一部において、確実にロックするまで押さず（上記①）、ロックの確認をおこなわなかった場合（上記②）、給油口がロックされたと誤認し、取扱い中不意に給油口が開き、油がこぼれるなど、火災に至るおそれがあります。

対象製品をご使用のお客様は、油タンクの点検・修理をさせていただきますので、フリーダイヤルまでご連絡お願い致します。

<p>【製造年の表示位置】</p> 	<p>【対象製品の製造年】</p> <p>2000年製 00年製</p> <p>↓</p> <p>1996年製 96年製※ 及び 製造年表示のないもの</p> <p>※ファンヒーターについては94年製</p>
--	--

（「よごれま栓タンク」を石油ファンヒーターの一部にも採用しております。機器本体の構造の違いから重大製品事故に至る可能性は極めて低いと考えますが、2000年製以前の石油ファンヒーターの「よごれま栓タンク」についても点検・修理いたします。）

1996年製（平成8年製）以前の油タンクには「ロックの確認」（持ち上げて確認）のお願い（表示）をしておりませんので、上記の注意事項に示す通りご確認のお願いをいたします。

■お客様相談窓口・フリーダイヤル 0120-623-238

※受付時間 午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く。）

※お電話いただく際には番号をお確かめの上、お間違えのない様お願いします。